

会期中
無休

令和7年度

日本芸術院
所蔵作品展

令和7年

10月29日水 → 11月4日火

会場

日本芸術院会館 展示室 回廊

観覧料

無料

開館時間

10時～17時(最終入場16時45分)

主催

日本芸術院



※会期、開館時間、展観作品等については、諸事情により変更する場合がございます。

日本芸術院に所蔵されている美術作品は、恩賜賞・日本芸術院賞を受賞した作品を中心に、会員就任記念時等の寄贈や、故川合玉堂会員の寄附金による買入れ等により、多年にわたり様々な形で収集されたもので、現在の総数は340点あまりに達します。

このたび「令和7年度日本芸術院所蔵作品展」では、当院が所蔵する美術作品の中から、「水」をテーマに、絵画、工芸、書等の公開を行います。

時代に名を遺す芸術家による珠玉の作品をどうぞお楽しみください。



日本芸術院賞とは

日本芸術院では、会員以外の者で、卓越した芸術作品と認められるものを制作した者及び芸術の進歩に貢献する顕著な業績があると認められる者に対して、昭和16年から戦中、戦後の一時期を除いて毎年、日本芸術院賞を授与しています。天皇后両陛下の行幸啓を仰ぎ挙行される授賞式では、この日本芸術院賞を受賞した者の中より特に選ばれて贈られる恩賜賞の授与も併せて行われます。

日本芸術院について

日本芸術院は、文部省美術展覧会的美術審査委員会を母体として、大正8(1919)年に帝国美術院として創設されました。帝国美術院設立当初の美術分野に加え、昭和12(1937)年には文芸及び芸能の分野が拡充され、帝国芸術院へと改組、さらに昭和22(1947)年に現在の日本芸術院へと名称が変更されました。現在、日本芸術院会員の定員は120名であり、第一部：美術、第二部：文芸、及び第三部：音楽・演劇・舞踊のいずれかの分野に所属して運営しています。



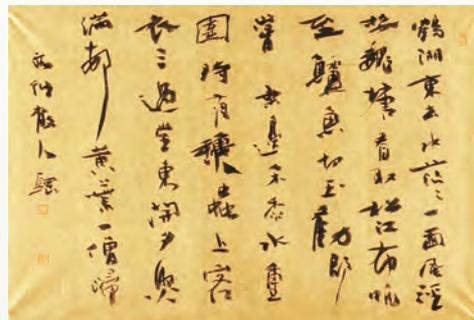
服部正一郎《水郷》



岸田竹史《蟻染鯉屏風》



高山辰雄《沼》



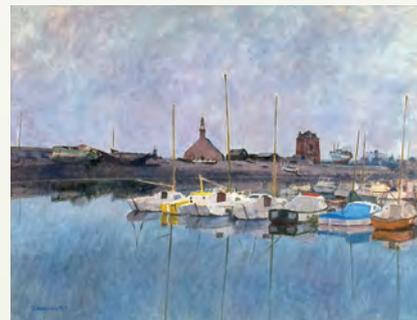
平尾狐往《七絶一首》



木下義謙《みすずの貯水池》



千住博《瀧 無際》



渡邊武夫《カマレーの入江》



碓伊之助《潮来》



内田鶴雲《渦潮》

日本芸術院会館

■所在地 〒110-0007 東京都台東区上野公園1-30

■電話 03-3821-7191

■ホームページ <https://www.geijutuin.go.jp>

■交通案内

[J R] 上野駅公園口 徒歩3分

[京成電鉄]京成上野駅正面口 徒歩5分

[東京メトロ]日比谷線・銀座線上野駅 徒歩5分

駐車場はございませんので、お車での来院はお控えください



展覧予定作家
(敬称略・五十音順)

内田鶴雲、岸田竹史、木下義謙、千住博、高山辰雄、
碓伊之助、服部正一郎、平尾狐往、渡邊武夫

全作品
全期間
展覧予定